

(様式1)

学校番号 (小 8 8)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立犬居小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校運営の基本方針について更に理解を深め、子供たちのよりよい教育や学校生活のために学校・保護者・地域との連携を深める。
- 学校や地域の良さを深く知り、ふるさとを愛する心を育む活動（春野ドリームプロジェクト）について保護者や地域が連携の方策を熟議し、支援していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- 基本方針の中の「地域に根ざした魅力ある学校づくり」の説明で、目指すこどもの姿や育てたい力など共有することができた。委員もそれぞれの立場で活発に協議することができた。
- グランドデザイン（運営方針）で、前年度と変更した内容や表記等について、その理由も含め校長から詳しい説明があり、今年度の方向性が明確になった。さらに、7月に、全教職員が参加し協議したことで、より理解が深まり、多様な視点から活発に熟議できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ふるさとを愛する心を育む活動の方向を共有することができた。様々な支援の具体も協議できた。また、全職員が参加してグループ別の協議も良い試みだった。
- 学校運営の基本方針について熟議したことにより、学校が求めるソフト面・ハード面での支援など協議会として十分話し合うことができ、具体的な支援活動ができた。
- 地域環境（自然、文化、歴史、人材等）を生かした学びや体験の充実のために、活発な熟議をすることができ、前年度よりさらに様々な支援活動ができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- 学校ホームページ・学校だより・CSだより等で地域に向けて十分情報発信ができています。
- 協議結果について、ホームページで詳しく情報発信ができています。コーディネーターが具体的な内容を回覧（紙面）で地域に発信し、学校への理解が広がっている。こどもたちが地域の人と直接かかわることが、一番の情報発信になる。今年度はより多くかかわることができ、情報発信ができた。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- 学校運営基本方針や「春野ドリームプロジェクト」についての理解を深め、こどもたちのよりよい学校生活のため、自然・文化・人材等の新たな地域環境を発掘し、学校・保護者・地域が一体となり支援活動の充実を図る。
 - 小規模校の良さを生かし、保護者や地域を巻き込んだ教育活動が十分できている。今後も継続的に地域や協議会委員との協働をさらに充実させたい。
- ※来年度は第3期が始まるため、4月に再検討する。